

要望しています

～笠岡市の未来のために～

平成27年度
決算認定
要望事項



過去の要望のうち
成果が出たものも
順次掲載します

9月定例会では、笠岡市の平成27年度一般会計等の決算の審査・認定を行いました。一般会計の決算認定で一部反対がありましたが、8つの要望を付けて認定することとなりました。要望を市がどう取扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。



地域おこし協力隊 で地域の活性化を

地域力を維持・強化出来る担い手となる多様な人材を採用し、連携・協働することにより、地域を活性化し更なる移住・定住の促進に努めること。



女性の観点による 地域防災力向上を

地域防災活動を活性化するためにも、防災士資格の取得への積極的な支援並びに女性防災士を増やす方策を構築し、女性の観点による地域防災力の向上に努めること。



重症心身障害児者 と家族に安心を

重症心身障害児者とその家族が安心して生活していく上で、居住地に近い市民病院でレスパイトサービスが行われる意義は大きく、サービスを早期に軌道に乗せられるよう努めること。



在宅介護者に ねぎらいと励ましを

介護事業の「施設から在宅へ」という流れや、在宅介護の負担が増す中で、介護者の労をねぎらい励ますという観点から、慰労金の給付条件を緩和し対象を広げること。



福祉基金助成事業に 受益者負担の視点を

扶助費・社会保障費が増加する中で、各種整備事業等、事業の必要性を精査し、事業を行う場合には対象者の所得等を考慮の上、受益者負担の視点を取り入れた検討・整理を行うこと。



人口規模維持と 分けた水道事業を

新水道ビジョンの策定にあたり、人口規模の維持は水道事業の会計とは別に進めるべき。また、事業・設備のダウンサイジング、広域事業化等を考慮しビジョンに反映すること。



安全で公平な 道路の維持を

危険箇所については、道路パトロール等で早期に発見をして適正な管理を図ること。また、道路アダプト等による地元への協力については、公平な協力体制を図ること。



これまでを踏まえた 駅周辺整備の検討を

JR笠岡駅周辺に係る事業と駅南周辺整備の事業について、これまでの経緯を勘案して事業化の推進を図ること。



要望結果

2件の完了報告を 了承しました

これまでに行った要望について、25件の進展状況の報告を受け、「耕作放棄地活用型モデル産地育成事業」と「カブトガニ博物館のPR」の2件の完了報告を了承しました。